

平成29年度第8回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年11月16日(木)
午後1時30分～午後3時
場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 部会検討内容の報告(資料1)

- 1) 訪問看護ネットワーク部会(訪問看護の啓蒙活動の一環としての、医師会との勉強会)
- 2) ケアマネット部会(ICTの活用)

(2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会実施報告(資料2)

・医師会部会・ケアマネット部会

(3) サルビー見守りネットについて

- 1) 安城市の現状とアンケート結果の報告(資料3)
- 2) 検討課題(研修会で出た意見のうち主に取り組むもの)
 - ・他市のシステムとの共用について
 - ・障害者手帳などを所持する市民の患者登録について
 - ・病診連携におけるサルビー見守りネットの活用について

(4) 次年度の研修、検討テーマの提出について(資料4)

連絡事項

・在宅医療・介護連携推進のための研修会

テーマ:精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機関との連携、具体的なアプローチ方法について)(保健福祉部会)

日時:平成29年12月14日(水)午後2時から

場所:市民会館 大会議室

講師:社会福祉法人ぶなの木福祉会 相談支援事業所ひだまり 山北佑介氏、岡田裕也氏

・多職種ワークショップ研修会

テーマ:病診連携及び退院カンファレンスに関する研修会(講演及びグループワーク)

日時:平成30年1月13日(土)午後2時から

場所:八千代病院 大会議室

講師:松本佳代氏(八千代病院看護副部長)他2名

次回 平成29年12月21日(木)午後1時30分～3時 社会福祉会館3階 会議室



平成29年度

安城市地域包括ケアシステムにおける各部会検討報告書

部会名 (ケアマネット部会)

検討テーマ	ICT の活用
検討内容	<p>「在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用の方法」について検討し、居宅介護支援事業所、患者登録を増やす事を目標にした。</p> <ul style="list-style-type: none">・第3回ケアマネット定例会(7月開催)①サルビー見守りネットの利用状況 ②活用してよかったこと・活用するメリット③活用しない(出来ない理由)④より良いシステムにするための提案 <p>結果：多数が利用登録できていない、または登録をしているが、活用できていない。</p> <p>要因：登録がうまくできない、パソコン等環境が整っていない。 余計な手間がかかる、対象者がいないなどが分かった。</p> <p>医師会部会と研修企画</p> <p>研修会プロジェクト ICT 活用 部会担当者会議 (8.9.10月開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・居宅介護支援事業所以外の介護保険事業へアンケートを実施し、現状の把握を行い研修参加者と意見交換を行う。・情報共有のメリットを伝え、登録が容易にできる事の必要性がある為、プロジェクトの活用状況、利用登録の個別相談会を行う。・見守りネットを利用することで多職種間の情報共有し、支援がうまくいった成功事例を紹介する。
結果・方向性 など	<p>結果：研修会のアンケート結果から、ケアマネジャーに限らず、多職種にICTの有用性を理解してもらえ、活用を推進するための意識付けが出来た。</p> <p>方向性：ケアマネット会員のいるすべての居宅介護支援事業所の利用登録を目標とし、ケアマネットの定例会で勉強会をして、ケアマネジャーが患者登録を積極的に出来るようにしていきたい。</p>
検討回数・方法	<p>会議8回 参加人数 延べ112人(うち定例会56人)</p> <p>☑電話 ☑FAX ☑メール ☑その他 (サルビー見守りネットプロジェクトチーム)</p>
備考	

10月14日 在宅医療・介護連携推進のための研修会 アンケート結果

資料2

テーマ:在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法(医師会部会・ケアマネット部会)

座長:岡本 雅彦氏(アイエムクリニック・安城)／木村 恵美氏(ケアサポート八千代)

発表者:大澤 一平氏(ケアプランセンターオレンジ)／渡邊 ルミ(ケアサポート八千代)

※研修会の参加者 122 名 アンケート回収 89 名(回収率73.0%)

1. 職種

職種No	職種	人数
1	医師	4
2	歯科医師	1
3	薬剤師	1
4	看護師	23
5	保健師	6
6	理学療法士	3
7	作業療法士	1
8	言語聴覚士	0
9	栄養士	0
10	歯科衛生士	0
11	MSW	0
12	ケアマネジャー	29
13	社会福祉士	6
14	介護福祉士	11
15	ヘルパー	0
16	その他	4
0	不明	0
合計		89

2. 所属

所属No	所属	人数
1	病院	6
2	診療所	11
3	薬局	1
4	訪問看護ステーション	14
5	老人保健施設	2
6	特別養護老人ホーム	1
7	有料老人ホーム等	1
8	居宅介護支援事業所	27
9	地域包括支援センター	6
10	社会福祉協議会	3
11	介護サービス事業者等	10
12	その他	6
0	不明	1
合計		89

3. 研修の反応

(1)わかりやすさ		人数
1	わかりやすい	71
2	まあまあわかりやすい	17
3	どちらでもない	0
4	あまりよく分からない	0
5	全く分からない	0
0	不明	1
合計		89

(3)今後に活かせるか		人数
1	活かせる	52
2	部分的に活かせる	30
3	どちらでもない	4
4	あまり活かせない	0
5	全く活かせない	0
0	不明	3
合計		89

(2)満足度		人数
1	満足	58
2	まあ満足	29
3	どちらでもない	0
4	やや不満	0
5	不満	0
0	不明	2
合計		89

4. 今後、企画してほしい研修など

- ・ 摂食・嚥下について
- ・ 次回口腔ケアも興味があります
- ・ 認知症Ptに関わる支援について
- ・ サルビー見守りネットの活用方法だけでなく、操作方法の詳細についても教えていただきたい。また、社会福祉協議会で活用できることがあれば、それについても教えていただきたい。

- ・ ICTの普及・啓発方法・効果的だった方法事例をききたいです。
- ・ 事例が増えたらまたお願いします。
- ・ わがごと まるごと・・・の内容がよくわからないので教えて欲しい。
- ・ 今回1回ではなく、また同じように「見守りネットの活用」事例をお願いします。
- ・ 対人援助技術・・・質問力をきたえるような内容
- ・ 新人ケアマネに対する研修
- ・ サルビー見守りネットの症例を継続して説明して欲しい。参考になりました。
- ・ 「見つかるつながるネットワーク」の活用事例
- ・ 地域包括ケアシステムに大きく関わる地域密着型サービスの研修会
- ・ 多職種間の連携について

5. ご意見・ご感想等

- ・ サルビー見守りネットをもっと活用していきたい
- ・ 今後、歯科治療分野で協力していきたいと思いました。
- ・ 病院の看護師として何かたづさわらせていただくタイミング etc.があれば教えてほしいと思います。
- ・ 事例をもとに説明頂いたので、見守りネットについてよくわかりました。活用方法を知らなかったので、とり入れていきたいと思います。
- ・ 実際利用したパネリストの方々の報告が、より利用の簡便さが伝わったと思います。コメントだけの利用だったが、今後積極的な画像の活用を取り入れていきたいと思いました。もっとたくさんの方々がサルビーを通し情報共有ができれば良いです。
- ・ 他事業所が、どのような方にサルビーを活用されているか知ることができました。
- ・ 全てをサルビーでやりとりするのかと思ってましたが、急な指示、報告はTELやFAXときき、ハードルが下がった気がします。
- ・ 使い方の参考になりました。
- ・ 実際にサルビーを利用していますが、今後の利用方法に参考になりました。もっとヘルパー、デイサービスの方の参加も希望して頂きたいです。
- ・ 明るくフレンドリーな会議(研修会)で満足の出来る情報でした。
- ・ サルビー見守りネットの活用方法についてメリット等がわかったので良かった。
- ・ 大変有意義で素晴らしい研修を有難う御座いました。
- ・ うまくいった事例を聞く事ができて勉強になりました。うまくいかなかったサルビー見守りネットの話もきけたら嬉しいです。
- ・ 連絡・報告・相談が全てつまったシステムで、連携もスムーズに出来、積極的に利用したいと思いました。
- ・ まだ活用した事は有りませんが、これからの活用にとっても参考になりました。情報の共有をタイムラインにできればと思いました。
- ・ 2事例ともとてもいい発表を聞かせて頂きました。ありがとうございます。
- ・ とても有意義でした。ケアマネさん皆様忙しい中ありがとうございました。サルビー利用による利点が良くわかりました。
- ・ サルビー見守りネットのことが理解できて良かったと思います。ありがとうございました。

- ・ 現在ではないが見取りの方がいた時やってみたら悩みが軽減したのかなと思いました。
- ・ サルビー見守りネットの活用を改めて積極的に活用して行こうと思いました。今日はとても参考になりありがとうございました。
- ・ パネリストの方々わかりやすい説明でした。活用をよくされていました。私ももっと活用したいと思いました。
- ・ 行政の生保や障害など、高齢福祉課以外もできるといいと思います。
- ・ 活発な発表とても参考になりました。ありがとうございました。部会を超えた交流が良かったと思います。
- ・ サルビーを使うイメージ、メリットを感じることができた。
- ・ とてもためになりました。私は生活支援コーディネーターとして関われることに対して活用したいです。
- ・ 将来は重症の方だけでなくことにも幅ひろく使えるといいと思います。まずはふれさせて頂きたいと思います。
- ・ チームとして登録することで、立場を越えて状況や情報を共有しやすくなるのかな、と思いました。
- ・ パソコン類に詳しくないので、写真投稿なども慣れるまでは時間がかかって取りかかりづらいつ感じます。
- ・ 利用者さんの事例としてサルビーを利用したことは数少ないですが、プロジェクトチームとして活用しており、便利だと感じています。
- ・ 分かりやすい説明ありがとうございました。少しでも、ヘルパーとして活用できたらと思います。
- ・ 情報共有が大切だと思いました。ありがとうございました。
- ・ 研修会に初めて参加させて頂きました。とても刺激になりました。また、参加したいです。
- ・ ありがとうございました
- ・ 他市の状況がどう利用されているか参考になりました。ありがとうございました。

在宅医療・介護連携推進のための研修会

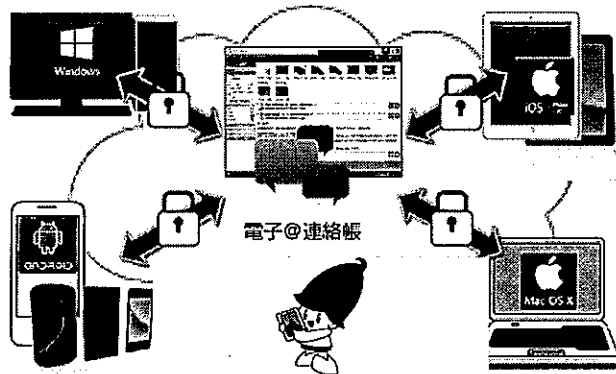
近隣市の現状と安城市の現状・アンケート結果報告

安城市役所 高齢福祉課 地域支援係



サルビー見守りネット（電子@連絡帳）でできること

インターネットで接続されたパソコン、スマホ、タブレット、携帯電話で利用可能



サルビー見守りネットとは

安城市の在宅療養者に関わる多職種専門職が、ICTツール(電子@連絡帳)を通じてスムーズな情報共有を図ることで、迅速な対応や質の高い医療・介護サービスの提供を可能とするネットワーク。



電子@連絡帳とは

プライバシー保護に関するセキュリティ対策が厳重に図られた在宅医療・介護に関わる多職種の情報共有のためのICTツール

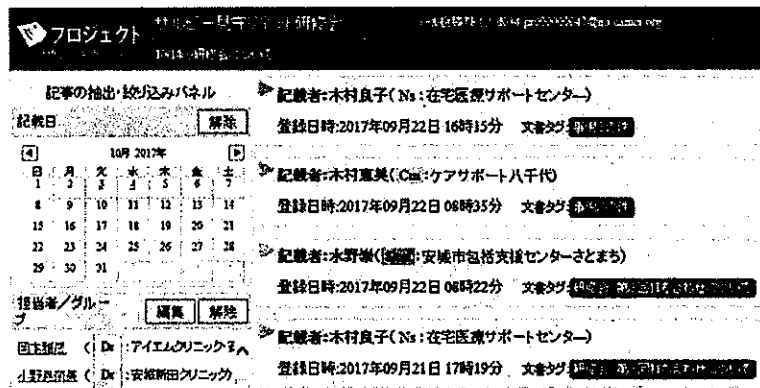
サルビー見守りネット（電子@連絡帳）でできること

記事投稿、ほとんどのファイル添付が可能

<p>ノート代わりに。</p> <p>「連絡ノート」の共有</p> <p>連絡ノートの共有したいページを写真に撮ってアップすれば、いちいち連絡ノートを見に行く手間も省けます。</p>		<p>患者の症状も。</p> <p>「写真」の共有</p> <p>患者の対応写真を登録して共有したり、写真にコメントを付けたりすることもできます。</p>
<p>たまったFAXも。</p> <p>「FAX」画像の共有</p> <p>届いたFAXをその都度登録する手間におけば、FAXがたまることもありません。</p>		<p>報告書や必要書類も。</p> <p>「文書ファイル」の共有</p> <p>医師や看護士、ケアマネなど複数に関わる文書なども手軽に登録できます。Excelやワードをそのまま添付できるので、ペーパーレス化が図れます。</p>
<p>共有したい画像も。</p> <p>「医療画像」の共有</p> <p>病院等で撮影したCTやMRI画像も登録すれば、院外の関係者とも簡単に情報共有する事ができます。</p>		<p>電子署名で紙いらず。</p> <p>添付ファイルを原本として共有</p> <p>HPKI等の電子署名を付ければ、印紙や郵送などの手間がなくなります。</p>

サルビー見守りネット（電子@連絡帳）でできること

- プロジェクト機能：患者に紐づかない自由なグループでコミュニケーションをとることができる



5

近隣市の状況

	導入時期
岡崎市	H28. 4
安城市	H28. 10
豊田市	H29. 4
刈谷市	H29. 4
碧南市	H29. 10
高浜市	H30. 1
知立市	H30. 2
西尾市	H28 ※別ツール

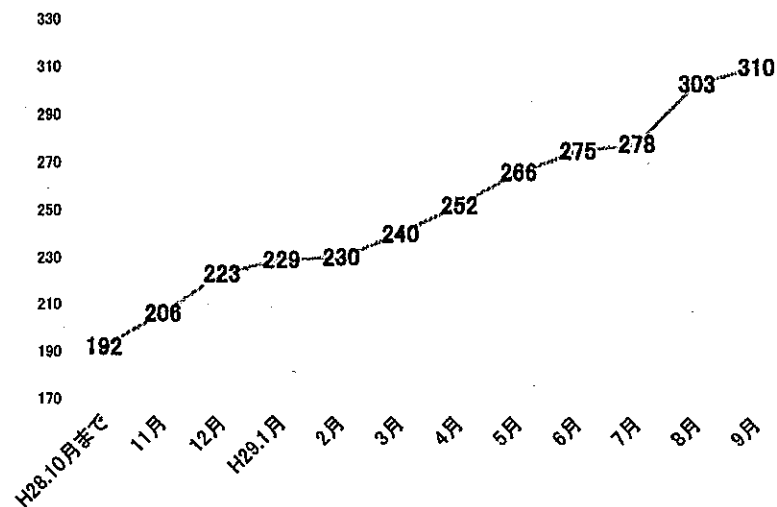
7

登録機関条件

- (1) 医療機関：安城市医師会に所属の医療機関
- (2) 歯科医療機関：安城市歯科医師会に所属の医療機関
- (3) 薬局：安城市薬剤師会に所属の薬局
- (4) 介護保険サービス事業所(訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所など)
：安城市内の介護保険サービス事業所※介護保険法に基づく指定事業所
- (5) 安城市地域包括支援センター
- (6) 安城市
- (7) その他協議会で認められた施設等(市外機関など)
：登録をご希望の場合は事務局(安城市役所高齢福祉課)までお問い合わせください。

6

安城市の状況（登録利用者数） H29.9.30時点



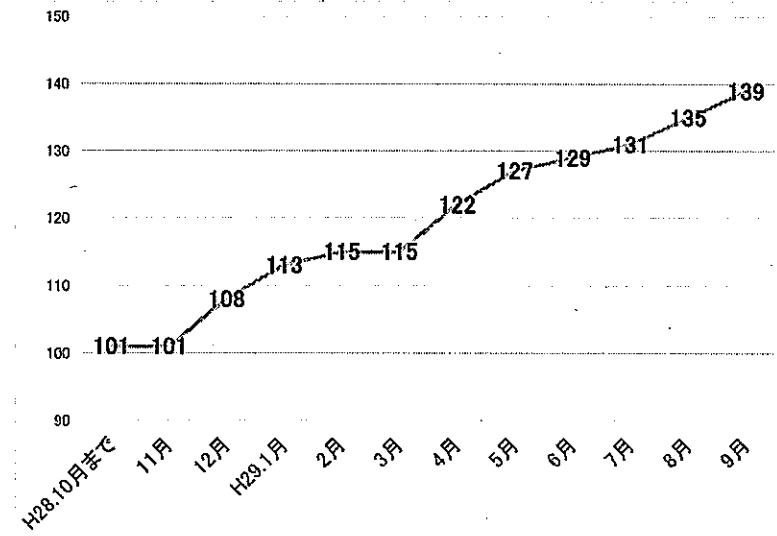
8

安城市の状況（職種別登録利用者数） H29.9.30時点

介護支援専門員・主任ケアマネジャー	78	介護保険施設管理者	8
看護師・准看護師	42	生活相談員	6
社会福祉士	35	その他の福祉関係者	5
理学療法士	22	通所系サービス事業者	5
医師	20	言語療法士	4
薬剤師	15	訪問系サービス事業者	4
介護福祉士・ヘルパー・介護職員	14	その他機関の管理責任者	4
安城市高齢福祉課	13	その他の医療従事者	3
歯科医師	12	精神保健福祉士	1
作業療法士	8	医師会事務局	1
保健師	8	メディカルソーシャルワーカー	1
合計		310	

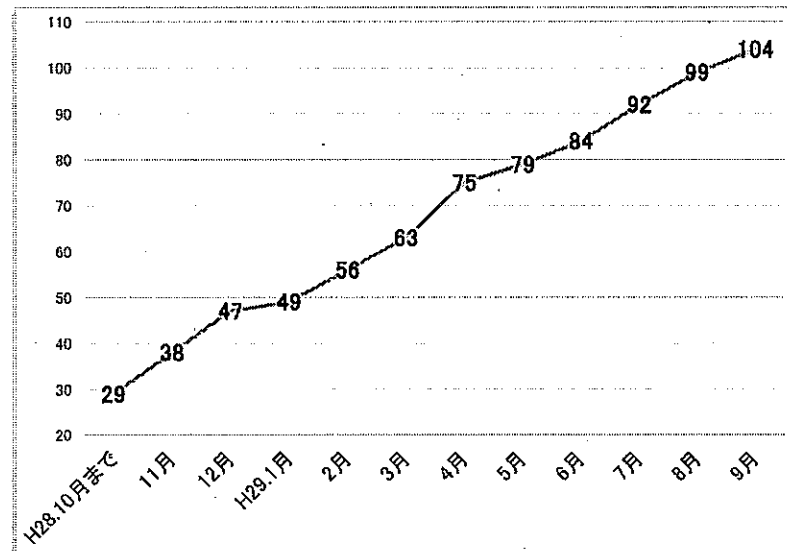
9

安城市の状況（登録施設数） H29.9.30時点



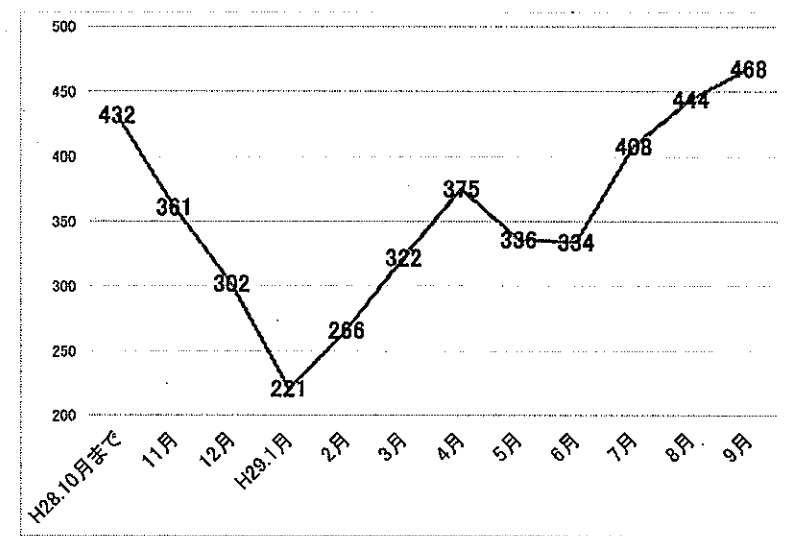
10

安城市の状況（登録患者数） H29.9.30時点



11

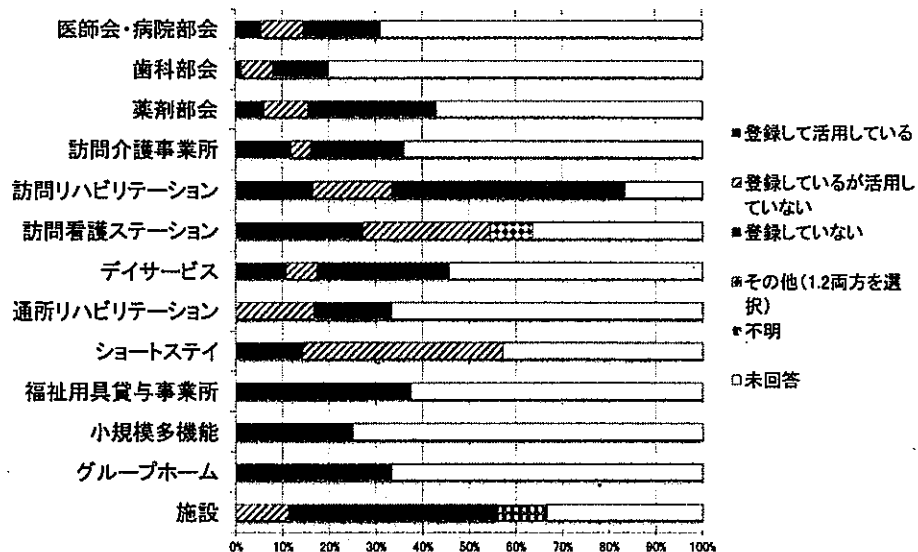
安城市の状況（月別患者記事数） H29.9.30時点



12

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート(結果)H29.8.31

1、サルビー見守りネットを活用していますか



13

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート(結果)H29.8.31

2、活用してよかったこと、活用するメリット(要約)

- ・すぐに情報共有、相談、対応、報告ができる
- ・報告が一回で済む
- ・担当者会議を開かなくても済んだケースがある
- ・FAXや電話より気軽
- ・医師との連絡がスムーズにできる
- ・写真や動画を活用できる
- ・患者さんの状況が伝わりやすい
- ・過去の履歴を簡単に振り返ることができる
- ・チームの方針、目標、自分の役割が分かり、行動にうつしやすい
- ・チーム員からの情報を踏まえて支援を考えることができる
- ・チーム員の動き、介入意図が把握できる
- ・チームで労い励ましあえる、苦労や葛藤を分かち合える
- ・プロジェクトは有用

14

ICTを利用した地域医療連携の導入効果

日本医師会総合政策研究機構「ICTを利用した全国地域医療連携の概況 2016」

・導入効果が高い

- 1、医療機関間の人的ネットワークが進んだ
- 2、患者紹介の円滑化が進んだ
- 3、従事者間の情報共有が向上した
- 4、患者サービスが向上した

急速に高齢化がすすむ今・これから、
医療ニーズ、介護ニーズの高い高齢者を
地域で支えていくために、
在宅医療・介護連携は必要不可欠
「サルビー見守りネットは連携の一助」

15

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート(結果)H29.8.31

3、活用しない(できない)理由(要約)

- ・端末に向かう時間が無い、習慣が無い
- ・ログインに手間がかかる
- ・カルテとの入力で2度手間となる
- ・文字がみにくい、小さい
- ・利用する機会が無い、該当する患者がいない
- ・記事を投稿してもいつ見られるか分からない
- ・安城市の在宅患者が少ない
- ・セキュリティが心配
- ・主治医登録が無い
- ・個人情報流出があった場合の責任の所在が曖昧
- ・主治医から登録依頼が無い
- ・FAXや電話の方が早い、分かりやすい、こと足りている
- ・利用者が少ない
- ・メリットが分からない
- ・関係する他事業所が登録していない
- ・業種的に活用方法が分からない
- ・活用するには端末が足りない
- ・PCが無い。ネット環境が無い。
- ・存在を知らなかった、内容をよく知らない、関心がない
- ・法人、会社の許可がおりない
- ・各自治体でそれぞれあるので管理が困難
- ・在宅医療・介護事業を実施していない
- ・ICTは敷居が高い、難しい
- ・なかなか自ら他の職種に提案できない
- ・登録やログインがうまくできなかった
- ・活用したいとは思っているが行動に移せていない

16

ICTを利用した地域医療連携の導入効果

日本医師会総合政策研究機構「ICTを利用した全国地域医療連携の概況 2016」

・導入効果なし

- 1、医師の偏在を補う効果があった
- 2、事務職員の負担軽減
- 3、看護師の負担軽減
- 4、技術職員の負担軽減

＜サルビー見守りネット普及の課題・問題点＞

- ・二重入力による業務負担増
- ・使用機器、システム操作の不慣れ
- ・端末やネット環境の整備
- ・利用者がまだ少ない
- ・セキュリティ確保

17

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート(結果)H29.8.31

4、より良いシステムにするための提案(要約) 1/2

- ・利用者、患者の登録を増やす事が必須。
- ・登録すべき患者はたくさんいる
- ・医師の登録が必須
- ・ケアマネの積極的な登録。ケアマネ発信のシステム作り。
- ・病院にも関わってもらおうとよい。
- ・病院がどう関わっていくかが有用なツールになるための重要な事項。
- ・施設が利用してくれるとよい
- ・訪問看護を利用している患者さんへの普及
- ・在宅へ戻る患者への病院からの発信
- ・レスパイトや地域包括ケア病棟の患者さんについては病院もチームにいれてほしい。
- ・退院前カンファレンスでシステム利用の了承を得る
- ・患者同意が面倒。介護保険認定時に同意はとれないか
- ・登録しやすいシステム
- ・システムの簡素化
- ・モバイル版を見やすく、文字を大きく、使いやすくしてほしい
- ・ソフトの動作環境に時々不備がある。立ち上がりが遅い。
- ・PCスマホに慣れていない人でも、見やすい分かりやすい仕組み
- ・介護認定情報も表示されるとよい

19

サルビー見守りネット(電子@連絡帳)のセキュリティ対策

「医療情報システムの安全に関するガイドライン」などの国(厚生労働省など)の法令・ガイドラインに基づいた運用を図っており、外部からの不正なシステムの進入に対して、厳格なセキュリティ対策を行い、情報を保護。

安心・安全なシステム環境のもとでの情報共有を図ることが可能です。



18

サルビー見守りネットの活用に関するアンケート(結果)H29.8.31

4、より良いシステムにするための提案(要約) 2/2

- ・本人や家族もアクセスできるとよい
- ・近隣市町村の患者さんも使えるようになるとよい
- ・障害福祉サービスでも利用できるとよい
- ・周知、啓発
- ・説明会、活用勉強会を何度も行う。説明会の時に登録作業も行う。
- ・簡単なマニュアルがあるとよい
- ・活用事例を知りたい
- ・さまざまな職種の意見交換の場があるとよい
- ・カルテとの入力の2度手間の解消
- ・システムで共有する情報(バイタルや報告事項など)を絞るといいかも。相談や指示が欲しい場合は電話の方が早く、正確。目的内容によってツールを使い分ける。
- ・意見書等書類を記載する際に必要なADL状況が一覧表で分かるとよい
- ・訪問前指示にサルビー見守りネット対応参照指示も加えて欲しい。
- ・複数担当制が多いので、個人ではなく事業所単位で使えるとよい
- ・市の担当者の対応が遅い、不在が多い
- ・システムの相談窓口があるとよい
- ・iPadやスマホの貸与や補助金を出して
- ・まずは使ってみるしかない

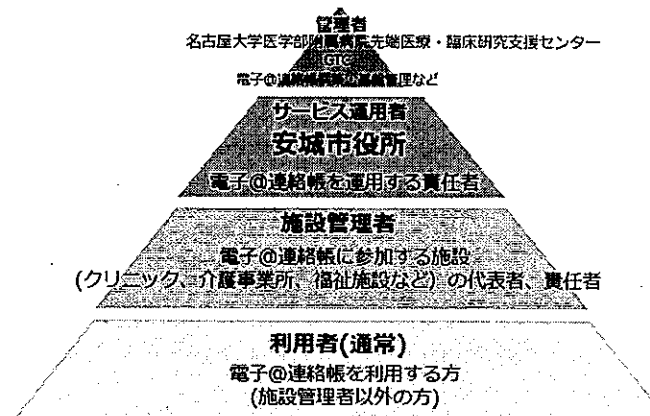
20

市が検討していくこと

- ・在宅医療・介護の推進
- ・利用者を増やすための取組(周知、啓発、説明会)
- ・登録マニュアルの作成
- ・相談窓口の迅速化
- ・より良い活用のための取組(勉強会、活用事例の紹介、意見交換会)
- ・患者同意のタイミングの検討
- ・他自治体との連携
- ・障害福祉分野との連携
- ・本人・家族の利用(電子@支援手帳)
- ・カルテや市介護保険システムとの連携
- ・端末などの補助や貸与

21

CTCや名古屋大学とご相談していくこと



- ・文字がみにくい、小さい。
- ・PCやスマホに慣れていない人でも、見やすい分かりやすい仕組み
- ・モバイル版を見やすく、文字を大きく、使いやすくしてほしい。
- ・ソフトの動作環境に時々不備がある。立ち上がりが遅い。
- ・意見書等書類を記載する際に必要なADL状況が一覧表で分かるとうい。

22

みなさんへ検討していただきたいこと(アンケートから)

【医師】

主治医登録をしてほしい・主治医から登録依頼をしてほしい・医師の登録が必須・訪問前指示にサルビー見守りネット対応中参照指示も加えて欲しい

【ケアマネジャー】

ケアマネに積極的な登録をしてほしい・ケアマネ発信のシステム作りをしてほしい

【病院】

病院がどう関わっていくかが有用なツールになるための重要な事項・病院にも関わってほしい・レスパイトや地域包括ケア病棟の患者さんについては病院もチームにいらしてほしい・在宅へ戻る患者への病院から発信してほしい

【施設】

施設が利用してくれるとうい

【訪問看護】

訪問看護を利用している患者さんへ普及してほしい

23

まずは登録を

活用したいとは思っているが
行動に移せていない

関係する他事業所が
登録していない

なかなか自らの職種に
提案できない

登録すべき患者は
たくさんいる

「使ってみたら意外に簡単で、便利だった」

該当患者がいなくても、まずは情報共有ツールとして使ってみてください(プロジェクト機能、メール機能)

画像、動画、文書などセキュリティが高い環境で手軽に共有できます。

メールやFAXの一斉送信より、回答や周知の管理もしやすい!

24

担当者の本音

「〇〇から登録を呼びかけて欲しい。」と他の職種に
きっかけ作りを期待をする声も多かった。

→誰からでも発信者になってほしい

→誘われたら快く受けてほしい

•でも医師の影響力は絶大！

ぜひ、主治医の先生から「サルビー見守りネットで
やり取りしようよ」と誘っていただけたら、みなさん動
き始めやすいのでは・・・

相談先

1、安城市役所高齢福祉課地域支援係 担当:長谷川(H29)

0566-71-2264

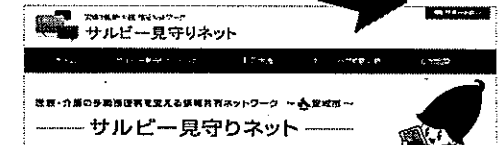
(8:30~17:15 ※土日祝、12/29~1/3はお休みです)

2、中部テレコミュニケーション 電子@連絡帳専用ダイヤル

050-7770-7289

3、ポータルサイト サポート窓口

メールフォーム



*の箇所は必ず記入してください。

企画が複数ある場合は複数枚提出してください。

平成30年1月18日（木）までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田)：E-mail: terada-yukiko@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

* 部会名		* 担当者名 連絡先	TEL
-------	--	---------------	-----

研修案	開催希望月	
	希望する会場	(参加予定人数 人)
	* テーマ	
	講師の氏名・ 職種・役職等	(職種・役職)
	開催にあたり協力 してもらいたい 部会	講師として (部会) 企画・運営にあたり (部会)
	* 研修会に参加 してほしい部会	<input type="checkbox"/> 自部会のみで開催したい <input type="checkbox"/> すべての部会 <input type="checkbox"/> 一部の部会 (参加してほしい部会に○をつけてください) 病院・医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護・訪問リハ・ ケアマネ・小規模多機能・デイ・ヘルパー・施設・ グループホーム・保健福祉・地域支援・住まい
備考欄		

平成30年度 各部会での検討テーマについて

*平成30年1月18日(木)までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田) : E-mail: terada-yukiko@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

部会名	
検討テーマ	
理由	(検討テーマが複数ある場合は、それぞれについて理由を記入してください)
このテーマを検討するにあたって協力してもらいたい部会	

部会	検討テーマ
医師会部会	在宅医療の充実に向けて
病院部会	緊急時の受け入れ
歯科医師会部会	医療・介護連携での歯科医療の役割
薬剤師部会	多職種連携
訪問看護STネットワーク部会	訪問看護の啓蒙活動の一環としての、医師会との勉強会
リハネット部会	自立支援を視野に入れた目標設定について 地域における介護予防の取り組みについて
ケアマネット部会	ICTの活用 介護保険制度運営上の問題点
施設部会	BCP策定と市町村、各施設との連携の構築
デイネット部会	総合事業と地域との連携について
ヘルパーネット部会	総合事業参入について
グループホーム部会	1.地域の認知症をサポートする支援の取組について 2 各グループホームで困っていることについて 3 部会を超えた異業種との繋がりが持てる機会の検討
保健福祉部会	住民主体(地域活動)による移動支援について ※(サロン・通いの場)の余暇活動の充実のためのレクリエーションの提案等、介護職が協力できそうなことを整理してデイネットに情報提供する。)

日時	主催する部会	内容	講師	参加予定の部会	会場
7月22日土 13:30~	地域包括ケア市民フォーラム	大人の『終活』新作法 ~いつか来る別れの日のために~	金子 稚子(かねこ わかこ)氏 ライフ・ターミナル・ネットワーク代表終活ジャーナリスト	一般	文化センター マツバホール
9月30日土 14:00~	認知症を知る講演会 ・講演「認知症とともに豊かに生きるために」 ・寸劇で知ろう認知症		・武地 一氏 藤田保健衛生大学 認知症・高齢診療科教授 ・劇団サルビー見守り隊	一般	文化センター マツバホール
1月13日土 14:00~	病院部会 医師会部会	多職種ワークショップ研修会 病診連携及び退院カンファレンスに関する研修会	講師/松本 佳代 氏(八千代病院看護副部長)、岡本 雅彦氏(安城市医師会)、永井 知直実 氏(在宅医療サポートセンター) ファシリテーター/清水 誠司 氏(安城市医師会)	すべての部会	八千代病院 2F 大会議室
6月28日水 18:00~	施設部会	アンガーマネジメント	由宇未空氏(アイキャリア株式会社)	すべての部会	市民会館 大会議室
7月1日土 13:30~	医師会部会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会	杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長	すべての部会 (定員30人)	医師会館 2F 大会議室
8月24日木 19:00~	訪問リハネット部会	「地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視したリハビリテーション」	竹田 徳則 氏 星城大学 リハビリテーション学部教授	すべての部会	アンフォーレ ホール
8月30日水 19:00~	グループホーム部会	虐待についての勉強会	和田 行男氏	すべての部会	市民会館 大会議室
9月7日木 18:30~	薬剤師会 ケアマネット部会	在宅服薬支援における多職種連携に関する研修会	講師/服部 宏明 氏(あおい薬局) 発表者/木村 恵美 氏(ケアサポート八千代)	すべての部会	市民会館 大会議室
9月23日土 10:00~	医師会部会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会	杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長	すべての部会 (定員30人)	医師会館 2F 大会議室
9月27日水 14:00~	テイネット部会	地域との事業所(施設)との関係づくりについて	アドバイザー/清水 隆幸 氏(八千代リハビリデイサービス影管理者)	すべての部会	市民会館 大会議室
10月14日土 14:00~	医師会 ケアマネット部会	在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方法	座長/岡本雅彦氏(アイムクリニック・安城) 木村 恵美氏(ケアサポート八千代)	すべての部会	八千代病院 大会議室
10月19日木 15:30~	歯科医師会	口腔ケア研修会「口腔ケアの実際」	板倉 直美 氏、中村 尚美 氏 (公益社団法人愛知県歯科衛生士会三河南部支部)	すべての部会 (定員40人)	総合福祉センター 会議室3
11月14日火 14:00~	保健福祉部会	住民による移動支援	遠山 哲夫氏 NPO法人移動ネットあいち理事長	すべての部会	社会福祉会館 2F講座室
12月14日木 14:00~	保健福祉部会	精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機関との連携、具体的なアプローチ方法について)	山北 佑介氏(相談支援事業所ひだまり 管理者) 岡田 裕也氏(相談支援事業所ひだまり相談支援専門員)	すべての部会	市民会館 大会議室
1月 日	ヘルパーネット部会	うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の基礎知識	みつわクリニック	すべての部会	
2月 日	グループホーム部会	薬の副作用・薬を減らすための取組についての勉強会	医師会・薬剤師会	すべての部会	
2月16日金 18:00~	訪問看護 ネットワーク部会	訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会	永井 知直実 氏(在宅医療サポートセンター)	すべての部会	市民会館 大会議室
	訪問リハネット部会	事例検討会	急性期・回復期・生活期リハを体験したセラピストを招いて、それぞれの時期のリハビリテーションについて考える。	リハネット	
	訪問看護 ネットワーク部会	事例検討会		医師会 (検討事例に関する薬剤師、ケアマネ等に個別に参加依頼をする)	医師会館
4月	歯科医師会部会	嚥下訓練と連携について	藤田保健衛生大学病院歯科口腔外科 中川量晴氏	歯科医師会	商工会議所